

邦船3社合計は東航・西航ともにトップ、ゼポ・データマイン調べ
太平洋コンテナ船航路で中台欧4社の首位争い激化

Edited By LogisticsToday On 2016/11/18

東航シェア

船社名	2016年10月		2016年9月		2015年10月		対前年同期増減	
	順位	シェア (%)	順位	シェア (%)	順位	シェア (%)	シェアポイント	TEU量 (%)
EVERGREEN	1	11.35	1	10.72	1	9.95	1.4	25.0
COSCO	2	11.09	2	9.09	5	6.27	4.8	93.6
MARERSK	3	9.47	3	9.08	2	7.80	1.7	33.1
MSC	4	8.03	5	7.21	6	6.26	1.8	40.5
CMS-CGM	5	7.20	4	7.44	3	7.80	▲0.6	1.1
kawasaki	6	6.32	7	6.23	8	5.64	0.7	22.8
APL	7	6.27	6	6.37	7	5.69	0.6	20.7
YANGMING	8	5.45	12	4.90	10	5.31	0.1	12.4
OOCL	9	5.34	8	5.82	12	5.05	0.3	15.8
HYUNDAI	10	5.22	10	5.09	13	5.02	0.2	13.8
NYK	11	5.13	9	5.46	9	5.34	▲0.2	5.3
MOL	12	5.07	11	5.03	11	5.09	▲0.0	9.0
HAPAG-LLOYD	13	4.15	14	4.21	14	4.07	0.1	11.8
Zim	14	2.12	15	1.88	15	1.93	0.2	20.6
UnitedArab	15	1.65	16	1.72	16	1.47	0.2	22.7
HANJIN	16	1.10	13	4.22	4	7.78	▲6.7	▲84.6
邦船3社合計	1	16.52	1	16.74	1	16.07	0.45	12.6
アジア合計		100.00		100.00		100.00		9.5

ゼポ・データマインがまとめた10月のアジア発米国向けコンテナ輸送動向によると、この航路で9月に2位のCOSCO(中国)がシェアを2ポイント上げて11.09%とし、首位・エバーグリーン(台湾)の11.35%に肉薄していることが判明した。

エバーグリーンも9月時点の10.72%から0.6Pほどシェアを拡大している。また、3位のマースク(デンマーク)が0.39Pアップの9.47%、4位のMSC(スイス)が0.82Pアップの8.03%といずれも市場シェアを拡大しており、上位4船社の首位争いが激化している状況をうかがわせる。

日本勢は、破綻した韓進海運と同じアライアンスに属していた川崎汽船が9月の6.23%から0.09Pアップの6.32%と微増ながら、7位から6位へと1ランク上げた。商船三井は0.04Pアップの5.07%とわずかにシェアを広げたものの、順位は1ランクダウンの12位となった。日本郵船はシェアを0.33P減らして5.13%の11位となった。

ただ、日本の海運大手3社は2017年に定期コンテナ船事業を統合することで合意しており、3社合計のシェアは16.52%で同航路トップをキープしている。

破綻した韓進海運は昨年10月のシェア7.78%からことし9月には4.22%、10月は1.10%と激減。順位も4位から16位へと後退した。

一方、西航(米国発アジア向け)は邦船3社の合計が9月の17.76%から19.62%へと1.9P増加してトップ、3社合計に次いで多いマースクも対前年比で4P以上伸ばして12.97%となっている。邦船3社の西航シェアが伸びたのは、川崎汽船が前年10月のシェア5.74%(9位)から2.76P増の8.10%へと拡大し、順位も9位から5位に上げたことが最大の要因となっている。

西航シェア

船社名	2016年10月		2015年10月		対前年同期増減	
	順位	シェア (%)	順位	シェア (%)	シェアポイント	TEU量 (%)
MARERSK	1	12.97	2	8.73	4.2	40.2
MSC	2	11.29	5	7.67	3.6	39.0
COSCO	3	9.98	11	5.15	4.8	82.8
CMS-CGM	4	9.48	3	7.81	1.7	14.6
kawasaki	5	8.10	9	5.74	2.4	33.3
YANGMING	6	7.99	12	5.40	2.6	39.7
NYK	7	7.10	6	7.09	0.0	▲5.4
HYUNDAI	8	6.56	7	6.32	0.2	▲2.1
EVERGREEN	9	6.32	1	9.93	▲3.6	▲39.9
HAPAG-LLOYD	10	5.52	14	4.72	0.8	10.4
MOL	11	4.42	13	4.93	▲0.5	▲15.3
APL	12	3.97	8	6.14	▲2.2	▲38.9
OOCL	13	2.27	10	5.44	▲3.2	▲60.7
Zim	14	1.94	15	1.59	0.4	15.4
UnitedArab	15	1.20	16	1.15	0.1	▲1.5
HANJIN	20	0.07	4	7.37	▲7.3	▲99.1
邦船3社合計	1	19.62	1	17.76	1.9	4.4
アジア合計						▲5.6

10月のアジア主要10か国・地域発のTEUは、9月が韓進破綻の影響から前年比2.4%のマイナスだったのに対し9.5%増の133.7万TEUとなり、1-10月累計では1215万TEUで前年同期の2.1%増となった。

主要品目の10月の動きは全体の15%を占める家具類が10.3%増電子電機12.7%増、玩具類18.4%増など上位10品目合計(全体の65%)が8.3%増となった。

米国主要港の動きも、ロングビーチ港だけが韓進破綻後の空コン処理の遅れなどで6.6%の減少だったが、ロサンゼルス、タコマがそれぞれ15.3%23.9%増、NY-NJ港が10.3%増、ノーフォーク、チャールストン、ヒューストンも二桁の増加となった。米国向け世界全体としては、アジアに加えて欧州、中南米なども堅調で、7.9%の増加だった。

アジア発国地域別では1位の中国が13.1%と二桁増だったが
2位韓国0.4%増、3位台湾1.7%減、4位香港1.7%、7位日本0.9%減——と横ばい傾向で、5位シンガポールは3月以来8か月連続マイナスで10%の減少だった。

それに対して、6位ベトナム(41.5%増)は6か月間、9位タイ(21.4%増)は7か月間、10位マレーシア(39.8%増)は4か月間、8位インド(7.4%増)も3か月間連続とアジアの好調が続いている。特にベトナムとタイは1-10月累計で36.2%、23%増と全体が2.1%増の中で突出している。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/265944>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.